

今昔の掛け橋

No. 26

島根大学埋蔵文化財調査研究センター発行 〒690-8504 島根県松江市西川津町1060 TEL/FAX: 0852-32-6496
 ホームページ: <http://www.maibun.shimane-u.ac.jp/>

特 集 記 事

「石の道具・木の道具」

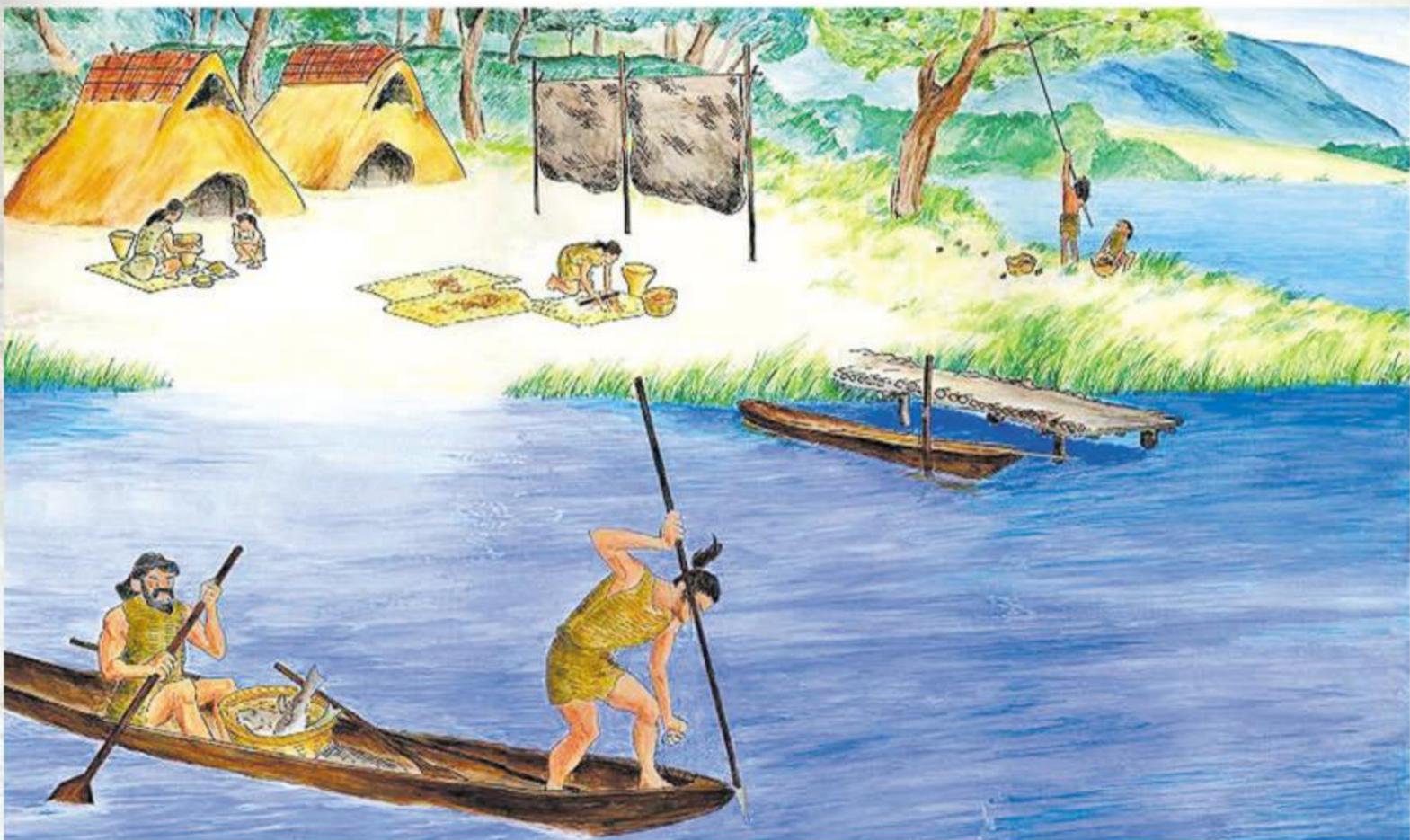
～縄文人はどんな道具を使っていたか～

1万年近く続いた縄文時代（じょうもんじだい）。

それは、山の幸・海の幸をとって生活した時代でした・・・

穴道湖（約6000年前は日本海とつながった「古穴道湾」）の水辺に暮らしていた島大構内遺跡の縄文人は、食料を得るためにどんな道具を使っていたのでしょうか？

今回は、発掘で見つかったいろいろな道具をもとに、彼らの暮らしぶりをのぞいてみましょう



島大縄文人の水辺の暮らし(想像図)

1. 狩りの道具・解体（かいたい）の道具



せきぞく
石鏃(矢じり)

1次調査(現第2体育館)・11次調査(現学生会館)出土
縄文前期～中期前葉



スクレイパー・いしさじ
スクレイパー・石匙

1次調査(現第2体育館)・11次調査(現学生会館)出土
縄文前期～中期前葉

男たちは、イノシシやシカを求めて、山へ狩りに出かけました。

「石鏃(せきぞく)」は、石の矢じりです。隠岐島から取り寄せた「黒曜石(こくようせき)」などを精巧に加工して作ります。

とれたイノシシは、「スクレイパー」や「石匙(いしさじ)」という石製のナイフで解体します。黒曜石は天然のガラスで、刃の部分がノコギリ状に加工してあるので、切れ味もなかなか良好です。

2. 漁撈(ぎょうろう)の道具



せきづい
石錘(網のオモリ)

1次調査(現第2体育館)・5次調査(現生物資源科学部3号館)出土
縄文前期



カイ・ヤスの柄

3次調査(現武道場)出土
縄文前期

島根大学（松江キャンパス）は、「古宍道湾」の奥まった、波の静かな入り江にありました。

ここでは、ヤマトシジミやスズキなどの魚が生息していました。

縄文人は、丸木舟をたくみに操り、網やヤスで魚をとっていました。

石錘（せきすい）は、河原石の端を打ち欠いてエグリをつくり、縄を巻きつけるようにしたものです。これを網にいくつも結び付けて、オモリにしました。大きいもの、小さいもの、細長い形のもの、丸い形のものなど、色々な種類があります。

ヤスの柄は、1本のスギの木を削って、細長い棒にしたものです。長さが約2.6mもあり、先端が尖らせてあります。先端にシカのツノで作ったヤスを取り付けるか、あるいは、このままの状態ですぐに魚を突き刺したと考えられます。

3. 調理の道具



すり石・石皿（木の実をすりつぶす道具）

1次調査（現第2体育館）・5次調査（現生物資源科学部）出土
縄文早期末～前期

女や子どもたちは、近くの林で、ドングリなど、木の実をとりました。

とれたドングリは、石皿とすり石を使って、殻を割り、粉にしたりしました。

石皿とすり石はセットで使います。

写真の石皿は、表面が滑らかで、使いこんだ様子が想像できます。

すり石には、茶色い跡が残っています。すりつぶした食材が付着したのでしょうか。

4. 伐採の道具



磨製石斧

1次調査（現第2体育館）出土
縄文前期

林の木は、家を建てたり、丸木舟を作ったりする材料になります。

木を伐採したり、枝をおとしたりするには、石斧（せきふ）を使います。

左の磨製石斧（ませいせきふ）は、石の表面を磨いて滑らかにしたものです。

斧に鉄が使われるようになるのは、縄文時代のずっと後、弥生時代の後半や古墳時代にはいつてからのことです。

縄文時代には、石や木を用いて、様々な道具を巧みに作り、使っていたようです。

当時は、まだ鉄の道具はありませんでした。しかし、黒曜石は天然のガラスといわれ、鋭利で切れ味が良く、鉄のナイフに勝るとも劣らない石材です。舟のカイヤヤスの柄は、5000年以上たった現在でもそのまま使えそうな製品です。

様々な技術が高度に進歩した現代社会からみても、身の回りで使う基本的な道具については、縄文時代以来、それほど、変わっていないのかもしれませんが。

埋文センター展示室のご案内

今回の特集に掲載した石器・木器の実物は、本センター展示室でご覧になれます。開館時間内でしたら、いつでもお越しください。

- 開館時間 午前8時30分～午後5時
- 休館日 毎週土・日曜日
年未年始 [12月29日～1月3日]
- 全国の博物館から届いたポスター・無料招待券等、ご自由にお取り下さい。団体客、大歓迎です。事前予約されれば、土日も開館します。

刊行物のご案内

島根大学埋蔵文化財調査研究センターでは、これまでに10冊の調査研究報告書・概報を刊行してきました。入手されたい方は、センターまでいらしてください。残部があれば、対応いたします。

- 残部のある刊行物
- 「島根大学構内遺跡第6・7次調査（橋本地区1・2）」
島根大学埋蔵文化財調査研究報告第3冊 1999年
- 「島根大学構内遺跡第5・9次調査（京田地区1・諸田地区4）」
島根大学埋蔵文化財調査研究報告第4冊 1999年
- 「島根大学構内遺跡第11次調査（橋縄手地区2）」
島根大学埋蔵文化財調査研究報告第7冊 2002年
- 「島根大学構内遺跡第12・13次調査（京田地区2・3）」
島根大学埋蔵文化財調査研究報告第8冊 2005年